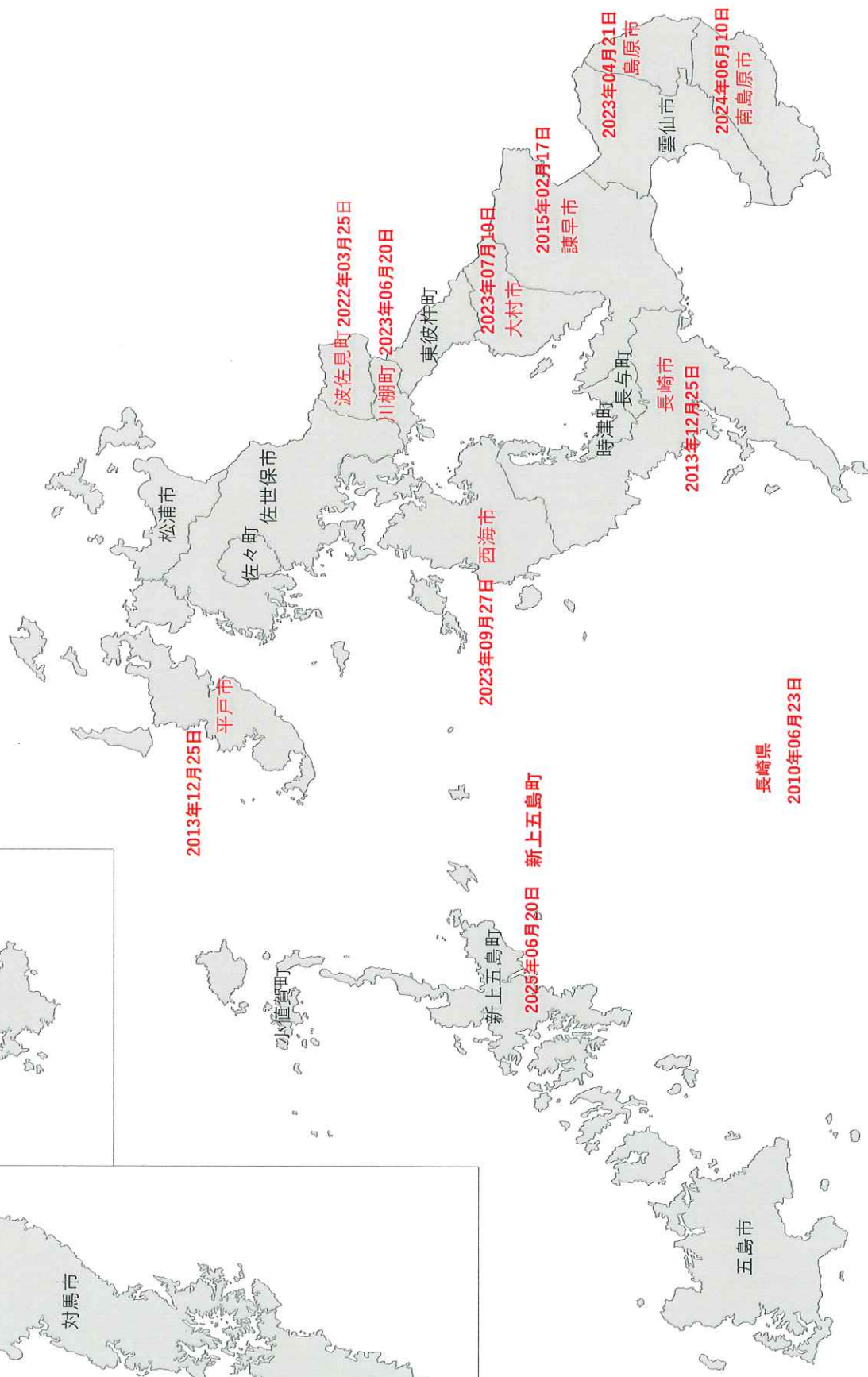


〈ご参考〉

長崎総合科学大学と協定を締結済みの自治体(長崎県内)





新上五島町 -Press Release-

長崎県五島手延うどん振興協議会・長崎総合科学大学・新上五島町

産学官連携推進に関する包括連携協定 締結

～五島うどん振興と人材育成へ貢献～

新上五島町は、五島うどんの持続可能な発展を目指し、長崎総合科学大学、長崎県五島手延うどん振興協議会と包括連携協定を令和7年6月20日に締結いたします。

この包括連携協定は、相互に連携を深めることによって、五島うどん振興等の地域社会活動への貢献と人材育成に寄与することを目的としています。

令和7年度は、五島うどんの生産現場が抱える人手不足の課題に対し、長崎総合科学大学の学生が五島うどん製麺所を訪問し、生産現場で見たり体験したりすることで得た知見と若者ならではの柔軟な発想を活かし、受注・製造管理システムの作成や更なる効率化へ向けた案の策定など、業務改善の具体的な施策を長崎県五島手延うどん振興協議会会員へ提言を行います。

五島うどんを取り巻く環境は、生産者の高齢化、人手不足、物価の高騰、製造機器の老朽化等、生産活動を継続するうえで厳しい状況にあります。町では、令和6年10月五島うどん課を設立し、五島うどんの認知度向上や消費拡大を目指した取組を強化するとともに、事業者の経営の安定化を目標に側面的に支援していきます。この包括連携協定によって、学生が五島うどんに関わることで、生産現場の活性化につながることを期待しています。

【お問い合わせ】

長崎県南松浦郡新上五島町青方郷 1585-1

新上五島町 五島うどん課 担当 島元

TEL 0959-53-1510

Mail k.shimamoto@town.shinkamigoto.nagasaki.jp

産学官連携推進に関する包括連携協定について

この度、長崎総合科学大学様、長崎県五島手延うどん振興協議会様と、包括連携協定を締結できることを心から嬉しく思っています。

本町では、令和 6 年10月に五島うどん課を設立し、歴史ある五島うどんを次世代に引き継いでいくため、五島うどんのブランド化、生産性向上に取り組んでいるなか、長崎総合科学大学の学生さんが、五島うどんの業務改善に関する具体的な施策をご提案いただくという取り組みは、まさに願ってもないお話です。

若い世代の皆様が、五島うどん、延いては新上五島町に深く興味を抱いてくださったことに、心から感謝申し上げます。町としましては、この活動を全力でサポートしていく所存です。

この産学官連携の取り組みが、長崎県五島手延うどん振興協議会の会員の皆様を抱える課題解決の一助となり、五島うどん産業全体のさらなる活性化、そして本町の地域振興に貢献してくれるものと確信しております。

新上五島町長 石田 信 明

新上五島町・長崎県五島手延うどん振興協議会との連携協定に係る学長挨拶

新上五島町、長崎県五島手延うどん振興協議会と長崎総合科学大学との「五島うどん振興と人材育成へ寄与する産学官包括連携協定」の締結にしまして、ご挨拶を申し上げます。

改めまして、新上五島町の石田町長様、長崎県五島手延うどん振興協議会の中本会長様はじめ関係者の皆さま方には、今回の包括連携協定の締結に際しまして、多くのご尽力をいただきまして、心より深く感謝申し上げます。

長崎総合科学大学は、今から 82 年前の 1943 年(昭和 18 年)に、当時の長崎の主要産業であった造船業の人材育成を担うために設立されました。その生い立ちからも本学は長崎の地から先頭に立って、長崎、九州といった身近な地域、さらには日本、世界に向かって社会的課題を解決する技術を研究開発し、多くの人材を教育して送り出す、まさしく地域に密接した大学であり続けたいと考えております。

本学では、本学の強みである伝統的科学技术分野から最新分野までを網羅した理工系の特長を活かした実践的な教育及び研究を踏まえ、産官学連携並びに地域課題解決に向けて、地域住民や企業が、本学の教員や学生と一緒に関係性を深めながら戦略的な課題解決を目指し行動しています。いわば、本学が志向する地域貢献は、本学が有する科学技術研究シーズや高度な人材や様々な資源などを「ふるさと長崎県」の経済社会活動のあらゆる分野に提供・支援・協働していくことを重要な使命として位置づけています。

一方、新上五島町は、自然の恵みにあふれ、世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を構成する頭ヶ島の集落を有するなど数々の歴史と文化にも彩られた大変魅力的な自治体です。産業面では、農林水産業に加え、五島うどんが主力生産品として有名です。しかしながら、その五島うどんを取り巻く現在の環境は、生産者の高齢化、人手不足、物価の高騰、製造機器の老朽化等、生産活動を継続するうえで大変厳しい状況にあると聞いております。

そのような状況において、今回、本学の学生が五島うどん生産現場における DX を活用した業務改善に係わることは、学生にとって実績的な学びの場を得ると同時に生産現場の活性化による地域貢献にも資することと、大いに期待するところでございます。

私ども長崎総合科学大学は、新上五島町並びに長崎県五島手延うどん振興協議会のみなさまと共に、先頭に立って取組んでまいり所存です。

結びに、本協定締結のお礼と、新上五島町の益々のご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

令和 7 年 6 月 2 0 日

長崎総合科学大学
学長 黒川不二雄